

授業科目	＊卒業研究（須藤）					単位	4		
履 修	必修	関連資格				ナンバリング	TO31806J		
開講年次	4 年	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP1-3 DP2-1 DP3-1 DP4-1DP5-1 DP5-2				
担当教員	須藤 秀夫								
授業概要	学生各自が最大の関心事として選んだテーマについて、「演習」その他で身につけた方法を用いて研究した成果を卒業論文の形にまとめ、発表する能力を完成させる。								
学生が達成すべき行動目標	・自分の考えを文書で、ならびに口頭で、筋道立てて論述することができる。 ・その自分の主張の妥当性を裏付ける信頼性のある情報・データ(論拠)を見つけ、分析し活用することができる。								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	0	0	25	25	25	25	100		
知識・理解（DP1-1）			12				12		
知識・理解（DP1-2）				12			12		
知識・理解（DP1-3）					12		12		
知識・理解（DP1-4）									
思考・判断（DP2-1）			13				13		
思考・判断（DP2-2）									
関心・意欲（DP3-1）					13		13		
関心・意欲（DP3-2）									
態度（DP4-1）				13			13		
態度（DP4-2）									
態度（DP4-3）									
技能・表現（DP5-1）					13		13		
技能・表現（DP5-2）						12	12		
技能・表現（DP5-3）									
具体的な達成の目安									
理想的レベル				標準的なレベル					
論理的に筋道立てて考え、自分の言葉でわかりやすく、口頭および論文で述べる能力を習得できている。				論理的に筋道立てて考え、聞く人を想定しながら、自分の言葉でわかりやすく、口頭および論文で述べる能力を習得できている。					
授業計画									
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	1～30回のすべてのテーマ・講義内容については、 第 1 回目の授業で担当者によって説明されます。			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	3 年次までの演習・研究科目についての理解が、きちんとなされていること。			
テキスト	担当者により、説明がされます。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	1.知へのステップ 2.図書館の朝日新聞のデータベース/ JapanKnowledge / ブリタニカオンラインジャパン （学内のみで閲覧可） 3.担当者により説明されます。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	大学での学びの総決算です。社会にしっかりアンテナを張って、自分の関心があるものを常に意識するようにしていきましょう。そうすることで、卒業研究のテーマについて、深めることができるばかりでなく、社会に出て、生き方の指針となるような物差しを得ることができます。 提出した論文の案文、口頭発表などに対して与えられた教員やゼミ生からのコメントを踏まえ、さらに自ら必要な情報・データ・事例を収集し、文献を読み、考え、書いた論文を向上させる努力が求められます。情報収集、論考、意見の発信という卒論への取り組みは、4 年間の勉			
達成度評価に関するコメント	社会人基礎力を十分身につけて、社会で活躍できるように学力、人間関係を円滑に運ぶことができる人間力を体得して、大学での学びの結びとなるようにしましょう。			